



「琵琶湖の水」へのメッセージ発表会を開催しました！

— 琵琶湖開発施設および瀬田川洗堰操作規則制定30周年記念イベント —



琵琶湖開発施設の管理開始および瀬田川洗堰操作規則制定から30年を迎えることから、広く一般の方々から応募いただいたメッセージを通して、今一度「治水」・「利水」・「環境」といった機能が守られているということを再認識いただくとともに、今後の琵琶湖や流域の持続可能性について考えていただける場となることを期待し、近畿地方整備局及び独立行政法人水資源機構が共催し「琵琶湖の水」へのメッセージ発表会を開催しました。

■ メッセージ発表会の概要

■ 日時: 令和5年1月28日(土)午後2時～午後4時

■ 場所: 滋賀県立琵琶湖博物館ホール

滋賀県草津市下物町1091(烏丸半島)

■ イベント出演者

コーディネーター: 川本 勇(プロデューサー、ジャーナリスト、ミュージシャン)

パネリスト: 伊吹 信人(滋賀県土木交通部流域政策局長)

松本 竜三(大阪広域水道企業団副企業長)

亀田佳代子(琵琶湖博物館副館長)

横山 莉奈(2022ミス日本「水の天使」)

小島 優(国土交通省近畿地方整備局河川部長)

◆ 参加応募者数: 会場 102名、WEB 370名

◆ 応募メッセージ数: 626通(治水関連35通、利水関連87通、環境関連504通)



コーディネーター
川本 勇
ミスターびわ湖



パネリスト
横山 莉奈
2022 水の天使



【主催者挨拶】
近畿地方整備局長
渡辺 学



【特別後援挨拶】
滋賀県知事
三日月 大造



開催会場の状況



パネルディスカッション



登壇者及び主催者代表 記念撮影









「琵琶湖の水」へのメッセージ発表会を開催しました！

— 琵琶湖開発施設および瀬田川洗堰操作規則制定30周年記念イベント —



応募いただいたメッセージ626通の中から【治水】・【利水】・【環境】とテーマ毎に各パネリストの方々に選定いただいた以下の6選のメッセージにおいて、ディスカッションを行っていただきました。

<p>国土交通省 近畿地方整備局 河川部長</p> <p>小島 優</p>		<p>【治水についてのメッセージ】 『僕の家は淀川の側にあります。大雨の時、お父さんに「淀川は大丈夫かな」と聞いたら、「いつも水上スキーの練習をしているびわ湖が淀川の水の量を調整してくれているから大丈夫だよ」と教えてもらいました。いつもありがとう。』(大阪市在住 山口敬史(ヤマグチケイジ)さん 10歳)</p>
<p>滋賀県土木交通部 流域政策局長</p> <p>伊吹 信人</p>		<p>【治水についてのメッセージ】 藤本太郎兵衛が、江戸時代親子3代で瀬田川を掘り下げ琵琶湖沿岸の浸水を減らした。渋る下流の人々を説得するため苦勞したのだ。利害やしがらみを超えて子孫へ伝える社会でないと、恥ずかしいじゃないか。」(大津市在住 近所の人)</p>
<p>大阪広域水道企業団 副企業長</p> <p>松本 竜三</p>		<p>【利水についてのメッセージ】 私は、小さい頃から琵琶湖を見てきたから琵琶湖があるのは当たり前だと思っていました。でも、水が出ない国があると考えたら私達は贅沢しすぎなんじゃないかと考えて琵琶湖があるのを当たり前と思わず琵琶湖があることに感謝して生活していきたいと思いました。(堅田中学校 1年生 山尾心音(ヤマオココネ))</p>
<p>2022 ミス日本 「水の天使」</p> <p>横山 莉奈</p>		<p>【利水についてのメッセージ】 「琵琶湖の水のおかげで人は生き、命がつながれてきた。私は幼い頃から病気で治療をしてきたけれど、その治療も、質のよい琵琶湖の水で清潔が保たれた病院だからこそ、かなった。琵琶湖の水を守ることは命を守ること。」(吹田市在住 鈴鹿典子(スズカノリコ)さん)</p>
<p>琵琶湖博物館 副館長</p> <p>亀田佳代子</p>		<p>【環境についてのメッセージ】 「琵琶湖は、私の小さい時から楽しく遊べる場所です。泳いでいると、小魚達も泳いでいて遊んでいても飽きません。葦やカイツブリなどの自然もたくさんあり自然を学べる場でもある琵琶湖は、学習の場でもあります。とても綺麗な所もあり、たくさん遊べる、学べる場の琵琶湖は、とても楽しいです。」(堅田中学校 12歳)</p>
<p>【コーディネーター】 川本 勇</p>		<p>【環境についてのメッセージ】 「SDGs体験などを通して、琵琶湖の水が汚くなっていることは、私たちにとって他人事ではないということ、改めて認識しました。これからは、地域の清掃活動に積極的に参加し、私たちの琵琶湖をきれいに保っていけるように頑張ろうと思います。」(堅田中学校 3年生 中瀬胡桃(ナカセクルミ)さん)</p>